

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■塗りつぶしの日 は 休館です。

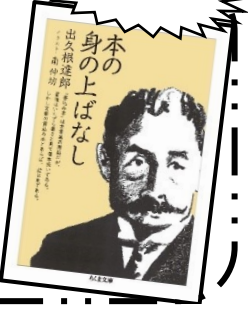
令和6年
11月



『本の身の上ばなし』 出久根達郎/筑摩書房/020.4 テク 文庫

盗作騒動、脱走兵だった作家、偽書にのめり込む者…。江戸の昔から昭和まで、数奇な運命をたどった書物と携わった人の知られざる逸話を紹介しています。『日本経済新聞』の連載を文庫化しました。著名人の意外なエピソード、1冊の本の陰に隠されたドラマなど、56話の『身の上ばなし』がちりばめられています。

Pick Up!



『在野と独学の近代』

志村真幸/中央公論新社/002 シム

南方熊楠を軸に、ダーウィン、マルクスから福来友吉、牧野富太郎まで、英日の独学者たちの姿を活写。さらに郵便、図書館など「知」のインフラやシステムにも着目。彼らの営為と変化する環境を通し、学問の意味や可能性を探る。

『「信教の自由」の思想史』

小川原正道/筑摩書房/165.9 オカ

明治維新以来、今日までの近現代日本における「信教の自由」の思想史を論考。創価学会と政治の関係、旧統一教会被害者救済などの政策動向などを踏まえて、今後の信教の自由のあるべき姿について提言する。

『離職防止の教科書』

藤田耕司/東洋経済新報社/336.4 フシ

部下のニーズを把握し、そのニーズを満たす対応をとることで離職は防げる。年代と意欲・能力の状況別に部下のタイプを9つに分け、そのタイプごとに離職の心理と対応を、現場の事例を交えて体系的に伝える。

『人はどう悩むのか』

久坂部羊/講談社/493.7 クサ

「幸せな老後」を実現するのに、何より大切なことは、精神的に満たされること、すなわち「精神の健康」。「精神保健学」の観点から、毎日を気分よくすごせるように、各ライフステージに現れる悩みを年代ごとに解説する。

『地図で読み解く日本の新幹線』

川島令三[監修]/カンゼン/686.2 カワ

新幹線全10路線120駅の成り立ちがまるわかり！東海道新幹線をはじめとする日本の新幹線の「路線」「駅」の不思議や秘密、「歴史」について、地図を使って解説する。歴代車両のデータなども収録。

『10代からの文章レッスン』

小沼理[編著]/河出書房新社/816 オヌ 青少年

身の回りで起こったできごとや自分の気持ちを、言葉でうまく表現するには。エッセイスト、小説家、文芸評論家、詩人、お笑い芸人ら15人が、自分の経験や気持ちを書くためのコツや工夫、心構えを伝授する。

『インターネット文明』

村井純/岩波書店/007.3 ムラ

誕生から半世紀。利用者は50億人を超え、インターネットはビジネスや医療、マンガから安全保障までを包摂するひとつの文明と化した。サイバー空間を生きるわれわれが直面する、人類史的な課題や使命とは。第一人者が語る。

『歴史学はこう考える』

松沢裕作/筑摩書房/201 マツ

史料とはなにか。それをどう読んでいるのか。そこからオリジナルな議論をいかに組み立てるのか。歴史について語る前に、最低限知っておきたい歴史学の考え方を解説する。

『電話恐怖症』

大野萌子/朝日新聞出版/361.4 オオ

近年、電話恐怖症が原因で心身症状の現れる人が、若者を中心に世界的に増えている。その背景には何があるのか。どう接したらいいのか。電話を「受けるのもかけるもの怖い」人たちの心理と克服法を伝える。

『沈黙の春』

レイチェル・カーソン/光文社/519 カリ 文庫

自然に対する横暴な振る舞いへの猛省を社会に訴えたレイチェル・カーソン。農薬規制、有機農法の普及、自然保護、エコロジー思想のその後の展開に大きな影響を与えた名著を、正確で読みやすく翻訳。文献リストも収録する。

『最新のスポーツ科学で強くなる！』

後藤一成/筑摩書房/780.1 コト

朝練よりも睡眠？毎日練習しないといけない？試合前にはとんかつ？パスタ？最新のスポーツ科学から得られた情報を「トレーニング編」「リカバリー・コンディショニング編」「栄養補給編」に分けて解説する。

『哀しいカフェのバラード』

カーソン・マツカラズ/新潮社/933 マツ

独身で背の高いアミーリアは、どういうわけか町に突然現れた小男に惚れ込み、同居してカフェを始めた。そこに元夫が刑務所から帰還。奇妙な三角関係の行方は…。村上春樹の新訳と山本容子の銅版画のコラボレーション。

『「知る」を最大化する本の使い方』

ぶっくま/翔泳社/019.1 フツ

「効率読書」「探究読書」「具体抽象読書」など、読書からの学びをすべて仕事へと繋げた著者のオリジナルメソッドをイラストで徹底解説する。選書に役立つぶっくマップ、折り込みのフローチャート付き。

『「戦後」を読み直す』

有馬学/中央公論新社/210.7 アリ

戦後80年、列島史レベルの社会変動をどう理解するか。敗戦の年に生まれた歴史家が、人生のその時々に影響を受けた書物を読み返し、血肉化された自身の価値観がどのように解体していったかを語る。

『8がけ社会』

朝日新聞取材班/朝日新聞出版/366.2 アサ

止まらぬ少子高齢化。インフラやサービスの担い手が減少し、社会が立ち行かなくなる現実実味が増す今、どう立ち向かえばよいのか。各地の実態に肉薄し、現状打破に奮闘する人々を描く。『朝日新聞デジタル』掲載を加筆し書籍化。

『ニッポン茶室ジャーニー』

藤森照信/淡交社/521.8 フシ

建築史の泰斗・藤森照信が、「これは必見！」と感じた全国の「文化遺産級」茶室を訪問。お殿様、数寄者、茶人らによる至高の空間をお茶好きのモデル・はなと共に味わい尽くす。藤森の茶室も収録。『なごみ』連載を加筆修正。

『翻訳をジェンダーする』

古川弘子/筑摩書房/801.7 フル

翻訳小説の中にいる少女や女性は、驚くほど「女らしい」話し方をしている。翻訳とリアルな社会との密接な関係を読みとき、性差別をなくすためのフェミニスト翻訳、社会に抗する翻訳の可能性を探る。

『よむよむかたる』

朝倉かすみ/文藝春秋/F アサ

小樽の古民家カフェに老人たちが集まる。月に一度の読書会のためだ。平均年齢85歳の超高齢読書サークルは発足20年を迎え、記念誌を作ろうとするが、すんなりと事が進むはずもなく…。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

『子どもの読む力を育てよう!』

小川三和子/青弓社/019.2 オカ

本がある環境づくり、読み聞かせなど、子どもたちの成長に欠かせない本との出会いや読書との向き合い方を、わかりやすくガイド。家庭や教育現場、図書館での子どもの発達段階に応じた読書指導の実践も紹介する。

『女の氏名誕生』

尾脇秀和/筑摩書房/288.1 オウ

「お」の付く女性名はどこに消えたのか。何が今日の「夫婦別姓」論争を生み出したのか。明治期に男女共通となった「氏名」が、現在までの間にどのような社会的変化により新たな執着・愛着を形成したのかを明らかにする。

『水曜日のお嬢様』

二木繁美/講談社ビーシー/489.5 ニキ

「神戸のお嬢様」とみんなに愛された、神戸市立王子動物園のジャイアントパンダ・タンタン。お昼寝、かくれんぼ、竹チェンジの要求…自由奔放なお嬢様パンダのかわいすぎる毎日を紹介する。『現代ビジネス』連載に加筆・修正。

『英国スコーン練習帳』

佐古玉緒/KADOKAWA/596.6 サコ

オープンがなくてもトースター、フライパン、魚焼きグリルで現地の味が作れる！本格的な英国スコーンの作り方を伝授。失敗のない基本の簡単スコーンの作り方や、紅茶とスコーンのセット「クリームティー」事情も紹介。

『改稿日本文法の話』

阪倉篤義/筑摩書房/815 サカ

「鳥が飛ぶ」と「鳥は飛ぶ」の違いをどう説明するか。山田孝雄らの学説を踏まえながら、日本語文の構造や単語の種類などをひとつひとつ明らかにし、文法学習の意義が日常のことばへの関心と正確な認識を得ることだと訴える。

『迷惑な終活』

内館牧子/講談社/F ウチ

年金暮らしの原夫妻。“生きているうちに死の準備はしない”主義の夫・英太が、あるきっかけから終活をしようと思い立つ。周囲にあきられながらも高校時代の純愛の相手に会うため動き始めるが、思わぬ事態を引き起こす。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ